

会社の概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社ソフト99コーポレーション
設立 1954年10月28日
本社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金 2,310,056,000円
従業員数 214名
事業内容 自動車用化学製品の製造及び販売

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	田中秀明
常務取締役	辻平春幸
常務取締役	奥楚佳秀
取締役	石居誠
取締役	小西紀行
取締役	上尾茂昭
取締役	生駒英昭
取締役	田中一成
取締役	宮園哲哉
取締役(社外)※	中務英三子
取締役(社外)	井原慶子
取締役(社外)※	藤井美保代
常勤監査役	古居祐祐
常勤監査役	福井健司
監査役(社外)※	平井康博
監査役(社外)※	樋口秀明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株主様向け三田工場見学会中止のご案内

株主様向けの工場見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止することといたしました。

問合せ先

人事総務部 TEL 06-6942-8761



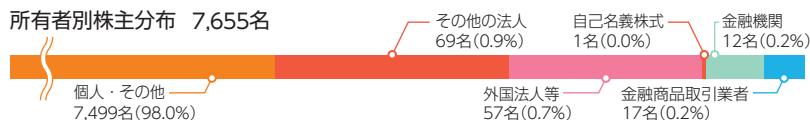
株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数(自己名義を含む)
60,000,000株	22,274,688株	7,655名

大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528株	14.8%
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,486,700	6.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	892,000	4.1
株式会社エイチイーエス	835,000	3.8
株式会社三菱UFJ銀行	799,200	3.6
立花証券株式会社	697,900	3.2
田中 秀明	661,976	3.0
公益財団法人ナインティナイン・アジア留学生奨学基金	603,720	2.8
田中 佐世子	594,192	2.7

※持株比率は、自己株式数(341,641株)を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
期末配当金 受領株主確定日	3月31日	中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月	単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)		
公告方法	電子公告 ウェブサイト: https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部(証券コード: 4464)		

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



第67期

中間報告書

COMPANY REPORT 2020

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



未来のあたりまえを発見する

株式会社
ソフト99コーポレーション

証券コード 4464

『生活文化創造企業』の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

代表取締役社長 田中 秀明



当第2四半期連結累計期間業績についてのご報告

この度、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、関係者の皆さまに謹んでお見舞申し上げます。また、最前線で対応されている医療従事者の皆さまに、改めて敬意と感謝を申し上げます。

平素より当社グループの事業活動に各段のご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当第2四半期連結累計期間におきましては、国内では新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企業活動・個人消費ともに、持ち直しの動きがあるものの、雇用情勢は悪化の傾向にあります。世界経済も、経済活動を再開させる動きも徐々に見えてきましたが、

感染者数は未だ増加傾向にあり、国内情勢と同様、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、外出自粛や在宅ワークなどの生活様式の変化が、主要得意先である小売業界や半導体市場に対してプラス要因となった一方、米中貿易摩擦の長期化や感染症収束の見通しが見えない状況でもあり、各方面において様変わりした市場環境となりました。

このような中、当社グループは、第6次中期経営計画「Overtake!!」の初年度として販売・開発の両面で様々な取り組みを進めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の実績においては、売上高、営業利益ともに

前年同期実績及び当第2四半期連結累計期間の期首業績予想を上回る進捗となっております。

セグメント業績についてのご報告

ファインケミカル事業では、自動車向けケミカル製品の販売において、遠出を控え家で過ごす巣ごもり消費需要が継続したことで、ユーザー自身で行うカーメンテナンスの需要が高まり、好調に推移しました。家庭用製品販売においては、マスク着用シーンが増えたことにより、メガネのくもり止め関連製品の販売が大幅に推移しました。また、海外市場においては、新型コロナウイルスの影響で一時的に出荷延期や販売が減少した地域があったものの、各国では徐々に消費活動が回復しつつあります。

ポーラスマテリアル事業では、感染対策として在宅ワークやオンライン授業など、ライフスタイルの変化により、半導体関連分野は恩恵を受ける形となりました。海外においては、物流不安を懸念した在庫積み増しにより半導体洗浄用途製品の出荷が増加しました。また、国内コンシューマー向け製品販売においては、巣ごもり需要により家庭用製品の販売が好調に推移しました。

今後も様々な分野において、新しい市場や新たな生活様式に向けた取り組みを継続し、製品開発やサービスの提供に注力してまいります。

通期の見通し・株主還元について

国内・海外ともに新型コロナウイルス感染症の影響等により、先行きは不透明な状況となっております。

このような中、当社グループは引き続き業容拡大に向けた取り組みを進め、通期の業績予想につきましては、期首に公表いたしました数値から上方修正となる、売上高25,700百万円、営業利益2,650百万円、経常利益2,770百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,930百万円といたします。

なお、当期の株主還元につきましては、配当予想の修正（増額）を行うことといたしました。中間配当金と期末配当金につき、それぞれ2020年5月15日に公表いたしました1株当たり12円50銭から、1円増配の1株当たり13円50銭へ増額し、年間では1株当たり27円00銭の配当とさせていただきます。

株主の皆さまへ

今後とも当社グループは、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、日々の暮らしに役立つ新たな生活様式の創出を目指し、事業活動に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

M&Aによる医療分野への取り組み強化

2020年8月6日付でアズテック株式会社の株式を取得し、アズテック社及びその子会社1社を当社子会社化いたしました。

事業セグメントの一つであるポーラスマテリアル事業においては、現在の主力である半導体洗浄用途等のハイテク分野向け製品販売に続く新たな事業の柱を構築すべく、医療分野向けの製品開発に取り組んでおります。

アズテック社は1994年の創業以来、主に病院向けに様々な衛生関連用品の企画開発・販売を行っているファブレスメーカーであり、特に手術室向けの衛生管理に係る製品分野において、市場での高い認知度を持つ企業です。アズテック社が築き上げてきた市場での信頼に磨きをかけ、また、当社グループ全体としての大きな取り組みの一つである医療分野の拡大に向けた長期的かつ持続的な企業成長を遂げるべく、引き続き事業活動の推進に取り組んでまいります。



家庭用衛生用品の販売開始

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、菌や汚れへの意識が一層高まっており、外出先でのアルコール消毒の徹底や、人との接触が考えられる様々なシーンで感染対策を講じることが一般的になってきました。

この度、当社はヒト・モノに対して快適な衛生環境を提供するための家庭用衛生用品の新ブランド「クリニクル（CLEANICLE）」の製品販売を開始いたしました。

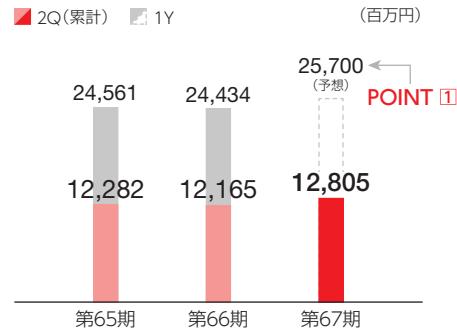
2020年8月には、住居・家具の洗浄・除菌を目的としたアイテム『クリニクル 除菌アルコールジェル』を販売し、2020年9月には、携帯に便利なウェットシートタイプの外皮消毒剤『クリニクル 消毒ウェットシート』を販売開始いたしました。

当社は家庭衛生ニーズの高まりに向けて、今後も新たな製品開発を進めてまいります。



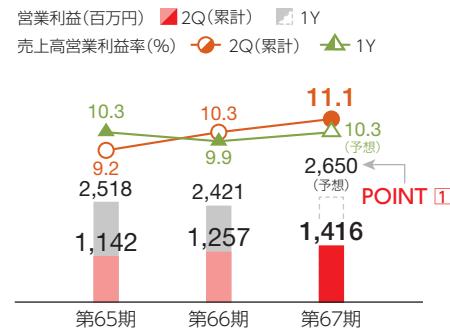
売上高

12,805 百万円



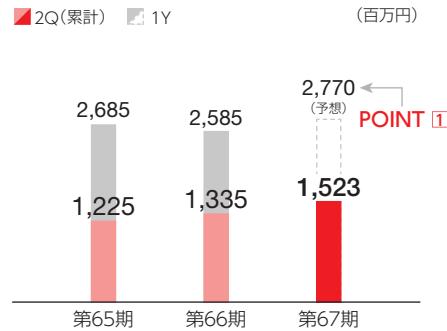
営業利益・売上高営業利益率

1,416 百万円



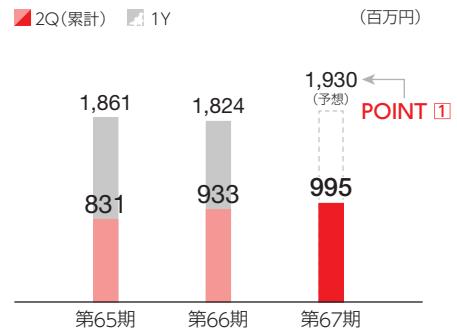
経常利益

1,523 百万円



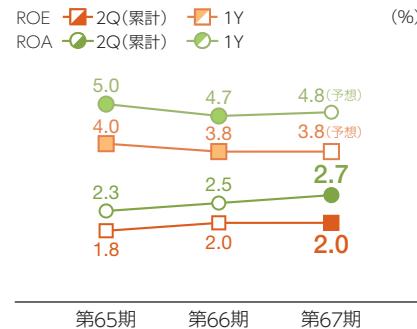
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

995 百万円



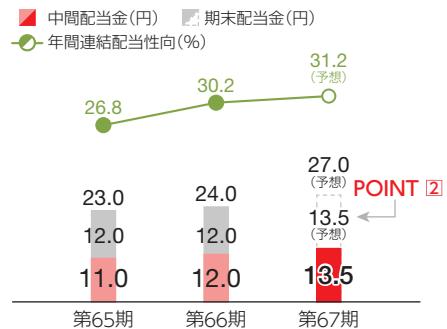
ROE・ROA

ROE 2.0% ROA 2.7%



1株当たり配当金・配当性向

中間配当 13.5 円



解説

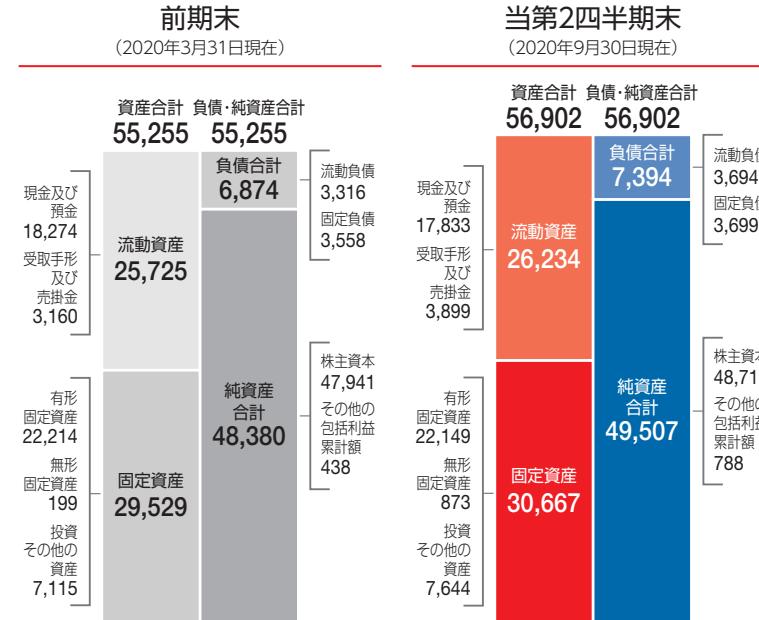
POINT ① 業績予想修正

上半期においては、新型コロナウイルス感染症の影響による、営業停止要請期間が当初想定より短時間で終了したことや、主力事業であるファインケミカルセグメント・ポーラスマテリアルセグメントを中心に、巣ごもり消費需要による販売伸長などにより、通期損益において期首業績予想を上回る結果となりました。また、M&Aによるアズテック社の子会社化も踏まえ、2020年10月26日に通期業績予想を上方修正しました。

POINT ② 中間配当及び期末配当予想の修正

中間配当につき、期首配当予想の1株当たり12円50銭から1円増配の13円50銭といたしました。また、期末配当予想につき、1株当たり12円50銭から1円増配の13円50銭に修正しております。

四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

解説

資産合計

売上債権が756百万円増加。投資有価証券が472百万円増加。2020年8月にアズテック株式会社の全株式を取得したことにより、のれん682百万円増加。現金及び預金が441百万円減少。

負債合計

仕入債務が241百万円、繰延税金負債が160百万円増加。未払法人税等が42百万円増加。

純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益995百万円と配当金の支払い263百万円により、利益剰余金が732百万円増加。その他有価証券評価差額金が347百万円増加。

解説

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	1,524百万円
減価償却費	373百万円
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲582百万円
仕入債務の増減額	205百万円
法人税等の支払額	▲505百万円

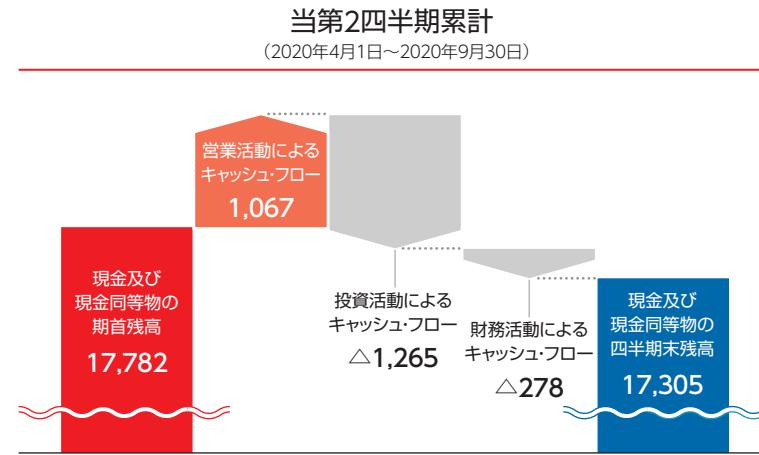
投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	▲280百万円
投資有価証券の取得による支出	▲501百万円
投資有価証券の売却及び償還による収入	432百万円
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲865百万円

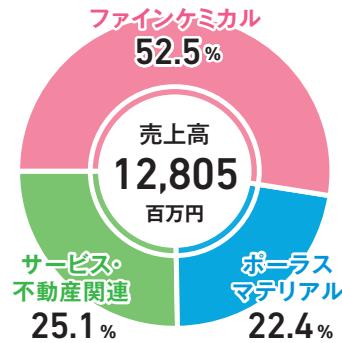
財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	▲263百万円
長期借入金の返済による支出	▲38百万円
自己株式の処分による収入	45百万円

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



第6次中期経営計画

2020年4月～2023年3月
第67期～第69期

「Overtake!!」

顧客変化を追い越せ!!

ビジョン

より幅広い社会課題(事業機会)に向けた
“他にない”製品・サービス開発と事業化

基本方針

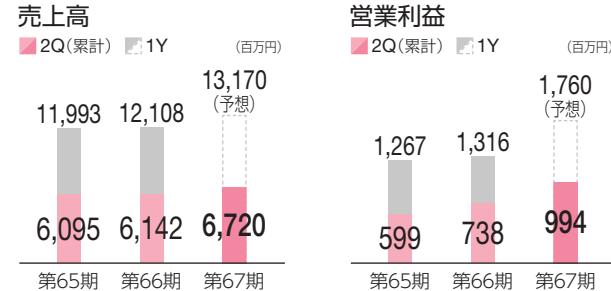
ファインケミカル(表面改質技術)とポーラスマテリアル(精密多孔質体技術)を2つの柱として、当社グループ既存技術ノウハウの横展開の更なる推進と、新たな技術ノウハウの取り込み・技術ノウハウ同士の掛け合わせによる事業領域の拡張を目指します。

主要計数目標

	第66期(実績)	第69期(目標)
売上高(百万円)	24,434	27,100
営業利益(百万円)	2,421	2,850
ROIC(投下資本利益率)	5.6%	6.1%

ROIC=税引後営業利益÷事業投下資本

ファインケミカル Fine Chemical



● 売上高 6,720 百万円 → 前年同期比 9.4% 増
● 営業利益 994 百万円 → 前年同期比 34.7% 増

一般消費者向け販売

- ボディケア製品は、新製品「パーフェクトフォームスターティングセット」の販売開始や、企画品の出荷により好調に推移。
- ガラコケア製品は、店頭プロモーションを計画通りに実施し、出荷が増加。
- リペア製品は、巣ごもり消費需要拡大によって腰を据えて行うカーリペアの需要が継続。

業務用製品販売

- 新車向け販売は、施工台数が減少したことで業務用コーティング剤、OEM製品ともに販売が減少。
- 中古車向けの販売は好調に推移。

海外向け販売

- 中国では、ECを中心にガラスケア製品やメガネケア製品の販売が増加するも、全体では減少。
- 中国を除く東アジアでは、韓国の現地代理店でマーケティング計画が奏功し販路を拡大。台湾の販売落ち込みをカバーした。
- ロシアでは新型コロナウイルス感染症の影響により、販売が減少。
- 欧州では、現地代理店が積極的にECチャンネルへの販売拡大を図り出荷が増加。
- ブラジルにおいては新型コロナウイルス感染症の影響は残っているものの出荷が回復。

TPMS(タイヤ空気圧監視装置)の企画開発販売

- 運送会社向けの販売は好調に推移したものの、乗用車向けOEM製品の落ち込みをカバーできず、販売が減少。

電子機器・ソフトウェア開発販売

- 受注案件の検収が進んだことに加え、受託開発製品販売が増加。

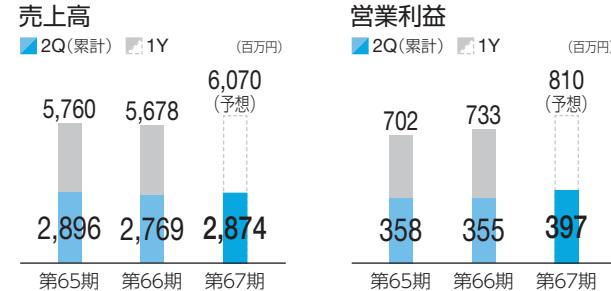
家庭用製品販売

- 主力のメガネケア製品は、マスク着用が常態化したことによる「メガネのくもり止め」関連の販売好調。感染対策製品として家庭用衛生用品新シリーズ「クリニクル」の販売を開始。



▲リペア製品

ポーラスマテリアル Porous Materials



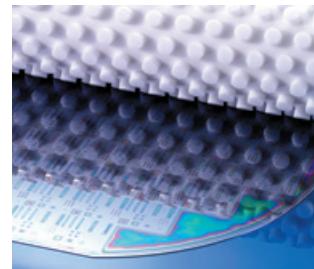
● 売上高 2,874 百万円 → 前年同期比 3.8% 増
● 営業利益 397 百万円 → 前年同期比 11.9% 増

産業資材部門

- 半導体市場においては、生活様式の変化に伴いパソコン向けメモリとストレージ、クラウド向けメモリとストレージの需要が増加。
- 国内向け販売は、半導体製造用途において一部ユーザーからの設備投資の延期が影響し、出荷が後ろ倒しになったことから販売が減少。
- 海外向け販売は感染症拡大に起因する物流不安から在庫積み増し需要増加。HDD向けにおいても出荷が堅調に推移。
- 医療向けの製品販売の拡大を目指し、2020年8月にアズテック社及びその子会社1社を子会社化。

生活資材部門(自動車分野・生活分野)

- 国内向け販売は、巣ごもり消費を受けて家庭用製品を中心に出荷が増加。
- 海外向け製品販売は、主要仕向け地である米国向けで市況の回復が見られたものの、他の地域においては経済活動の停滞などで販売が減少。

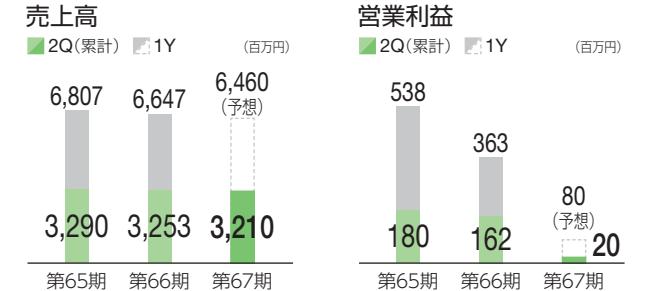


▲半導体洗浄部材



▲家庭内清掃用品

サービス・不動産関連 Service / Real Estate



● 売上高 3,210 百万円 → 前年同期比 1.3% 減
● 営業利益 20 百万円 → 前年同期比 87.5% 減

自動車整備・钣金事業

- 自動車の利用頻度の回復や車両部品入荷の安定化により、钣金入庫の減少に歯止めがかかった。取り組みを強化しているプロテクションフィルムやコーティング施工、物販は伸長。

自動車教習事業

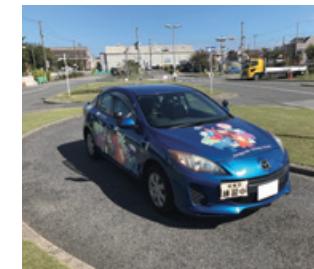
- 緊急事態宣言に伴う営業自粛要請を受けて一時休業。営業再開後は順調に入所者数が回復。

生活用品企画販売事業

- 通販需要増加が継続し、主力の生協向け販売やEC販売が好調に推移。

不動産関連

- 不動産賃貸事業は、保有物件において入居が増加し、安定した稼働率を維持。
- 温浴事業では、緊急事態宣言に伴う営業自粛要請を受けて一時営業を自粛。営業再開後においても来客数や客単価が伸び悩み売上が減少。
- 介護予防支援事業では、外出自粛により来所利用者が減少。



▲普通自動車教習



▲足裏安全ルームシューズ